2024 年 7 月 31 日

各　位

会社名　株式会社ショーケース
代表者名　代表取締役社長　平野井 順一
（コード番号：3909 東証スタンダード）
問合せ先　コーポレート本部　経営企画部長
寺口　洋一
（TEL 03-6866-8555）

あらゆる書類の文字情報をデータ化する「ProTech AI-OCR」をリリースしました

「ProTech ID Checker」の新機能である、OCR と大規模言語モデル（LLM）とを組み合わせた本人認証自動化機能を発表した際に、本人確認書類以外の書類の読み取りやデータ化に関する要望が多数寄せられました。そのため、書類を読み取る機能のみを切り出した今回のサービスの販売開始に至りました。本人確認書類以外の様々な形の書類も読み取れるため、手作業で行っていたデータ入力作業の DX を可能にします。これにより、業界を問わず手作業によるミスの発生や労働力不足等の解決を進めてまいります。



1. 開発の経緯

「ProTech ID Checker」の新機能である、OCR と大規模言語モデル（LLM）とを組み合わせた本人認証自動化機能を発表した際に、本人確認書類以外の書類の読み取りやデータ化に関する要望が多数寄せられました。そのため、書類を読み取る機能のみを切り出した今回のサービスのリリースに至りました。本人確認書類以外の様々な形の書類も読み取れるため、手作業で行っていたデータ入力作業の DX を可能にします。これにより、業界を問わず手作業によるミスの発生や労働力不足等の解決を進めてまいります。

2. 「ProTech AI-OCR」とは

「ProTech AI-OCR」は本人確認書類をはじめとするあらゆる書面の文字情報を読み取り、データに変換し、API で返却するサービスです。

このサービスは、2024 年 4 月 25 日に発表した「ProTech ID Checker」の新機能である、OCR と大規模言語モデル（LLM）を組み合わせた本人認証自動化機能で用いられている「AI-OCR」の機能に機械学習プロセスを追加して提供するものとなります。オンライン本人確認/eKYC ツール「ProTech ID Checker」とは関係なく、本人確認書類の読み取りに限定せず、AI-OCR 機能単体で利用できることが魅力となっています。

○「ProTech AI-OCR」の特徴

- **読み取り精度 99%以上（※）を実現。読み取り精度がエンドユーザーの品質に依存しない。**

→低解像度・反射して白飛びしたデータ・枠の特定が難しい手持ちデータ等でも文字を読み取ることができます。※当社調べ。

- **複数の書類に 1 つのサービスで対応できる。また、定型・非定型/手書き・印字問わず対応可能。**

→本人確認書類ごとにそれぞれライブラリを導入する必要がありません。このサービス一つで複数の形式の違う書類に対応することができます。また、書類は定型書類だけでなく非定型書類の対応も可能で、かつ書面の情報は手書き・印字問わず対応可能です。

- **マスキング処理や要件に応じた追加処理が可能。**

→特定箇所のマスキング処理や、未成年（指定年齢）判定等の取得データに基づく追加処理も対応可能です。

○「ProTech AI-OCR」の利用シーン

- **自治体申請書の読み取り**

  申請書ごとにフォーマットが異なっていても、それぞれデータを読み取り記載内容をデータ化します。
  これまでは手入力もしくは PDF 等の画像データで保管していた書類を瞬時にデータ化し、管理しやすくします。

- **資格証の読み取り**

  採用時に資格の登録が必要な場合、登録番号等を控える必要があります。手入力だと間違えてしまいやすいデータですが、AI-OCR が自動で読み取りデータ化するため、入力ミスの削減に大きく貢献します。



サービスサイトはこちら：https://ekyc.showcase-tv.com/ai-ocr/
サービスに関するお問い合わせはこちら：https://ekyc.showcase-tv.com/ai-ocr/contact/

以上